審査の講評

幼児の部	多くの作品をご応募いただき、ありがとうございました。 どの作品も子どもたちの素直な気持ちが現れた良い作品ばかりでした。主人公と自分を重ね合わせ、問いかけたり、想像したり・・・、子どもらしい素直な言葉で表現していました。また、ご家族や身近な人への優しい思いには、何度も心が熱くなりました。さらに、親子で本に触れる機会を大切にし、読書で夢や冒険の世界に入り込んだり、知識を広げたりして、豊かな心を育てていってほしいと思います。 潮来市立延方小学校　大﨑　明子 龍ケ崎市立龍ケ崎小学校　石田　里香
小学校 １・２年の部	本の内容と自分の体験や生活経験と重ね合わせて、素直な表現で書かれている作品が多くありました。登場人物に自分を重ね合わせて考え、「自分だったらどうしようかな」と想像を膨らませて書いた様子が伝わってきます。そんな素直な気持ちを大切にして欲しいと思いました。これからもたくさんの本を読んで、さらに心を豊かにしていってください。 坂東市立神大実小学校　成富　久美子 大子町立上小川小学校　木村　秀美
小学校 ３・４年の部	自分の体験や経験を振り返って書いてある作品が多く、その本を読んでこれからどう生かしていきたいのか、どう変わっていきたいのかなど自分の思いがよく書けていました。感じたことや考えたことを、素直にわかりやすい文章で書くことができていると思います。これからも読書に親しみ、心の栄養を蓄え、自分の思いを表現してみましょう。 石岡市立園部小学校　三輪　美保 古河市立仁連小学校　柴崎　幸奈
小学校 ５・６年の部	冬休み子ども読書感想文と手紙作品コンクールの応募、ありがとうございました。登場人物や作者の気持ちをしっかりと読み取り、読書を楽しんだ様子が伝わってきました。自分の体験や目標と照らし合わせながら、文章を丁寧にまとめられていました。これからも、読書に親しみ、心を豊かにしてほしいと思います。 常陸大宮市立御前山小学校　生天目　則子 土浦市立土浦第六中学校　櫃村　友希
中学校の部	どの作品からも、自分なりの考えをもちながら文章を読み進めていたことが伝わってきました。登場人物の物事の捉え方から新たな視点を得たり、自分の経験と結び付けてよりよい生き方を模索したりしている作品が多く、未来を築く中学生の頼もしさを感じることができました。「なんでだろう」「本当にそうかな」「自分だったらどうだろう」と考えながら本を読むことは、自分の考え方を広げることができると思います。今後も読書を通して感じたこと、考えたことを大切にしながら、たくさんの本を読んで、心を豊かにしていってほしいと思います。 北茨城市立華川中学校　村松　祥成 ひたちなか市立勝田第三中学校　藤田　優希